



No.1 2018年度1次隊 小学校教育 飛田梨圭 とびたりか

1. はじめに

2018年6月からアフリカにあるカメルーン共和国という国に小学校教育論として派遣された飛田です。早いもので派遣されてから1年が経過し、アフリカにいる間に元号が平成から令和へと変わってしまいました。初めの頃は言葉や文化の違いに戸惑っていましたが、ここでの生活にも慣れたのでこれから月1回を目標にして、この国について紹介していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

2. カメルーン共和国について

日本からカメルーンへ行くには飛行機で2回乗り継いでかつ24時間近く乗っていないと着けないようなところにあります。アフリカでも中央アフリカに位置し、赤道より少し北にあります。赤道に近いと聞くと、周りはジャングルで野生動物がたくさんいるとイメージする方も多いのではないですか？私もここに来るまではそのように考えていましたが、割と首都は発展していて野生動物も普段見かけることもありません。時折幹線道路沿いに巨大な蛇やサルといった動物の死骸を手にもって売っているを見かけるくらいです(笑) 暑さも日



本の夏のようにじめじめとした暑さではないのでむしろ日本よりも過ごしやすいと感じているくらいです。ただ、日本のように四季がないので季節感がないのが残念です。去年の12月は暑いのに店先にクリスマスツリーが飾ってあるのは不思議な感じがしました。

3. 配属先の紹介

冒頭でも少し述べましたが、私は小学校教育という職種で派遣されました。現地の教員と協働で情操教育の促進のために活動をしています。簡単に言うと図工・音楽・体育といった教科を小学校で教えています。ただ、日本のように物資が豊かではないので限られたもの



中で授業をしています。左の写真は実際の教室の様子です。何か感じることはありませんか？昼間なのに教室の中が薄暗いと思いませんか？ここではこれが当たり前の光景です。教室に電気はあるのですが、よほど外が暗くない限りつけることはあまりありません。また、写真ではわかりにくいですが、日本の小学校と同じくらいの広さの教室に約100人の子どもたちが机を並べてぎゅうぎゅう詰めで勉強しています。日本では音楽は音楽室で、体育は晴れていたら運動場、雨なら体育館、夏はプールといった施設が整っていますが、私の任地の小学校ではそんなものはありません。音楽の授業はCDデッキやピアノがないので音源は先生の声になります。先生の声に頼りに子どもは元気に合唱をします。子どもたちの歌声もですが何より先生の歌唱力には圧倒されました。物のない中で工夫をして授業をしていると感じました。

右の写真は私が通っている小学校のグラウンドです。普通日本の小学校では公立・私立に関わらず校庭に遊具があるかと思いますが配属先の小学校にはありません。ただ広いグラウンドがあるだけであつ、このグラウンドも4つの小学校が共同で使用しています。なので、体育の授業をいくつものクラスが同時



に行うということもあります。雨が降ると体育館がないので体育は無しになり別の教科を教室で行います。ただ、朝から土砂降りですと子どもも先生たちも自宅待機をする（傘をさして出歩くという習慣があまりない）ので授業の開始が遅くなります（笑）このようなまったりしたところもカメルーンという国にはあります。

おまけ



この写真は語学学校へ通っていた時のものです。変わった柄の服だと思いませんか？これはカメルーンで布を買って、仕立屋へ行き、服を作ってもらいました。日本人はボランティア仲間です。ちなみに私は前列の右から2番目です。